

## 全国配置薬協会が組織変更を実施 製薬部会、配置部会を廃止 製販一体の5委員会体制へ 「配置は1つ」を目指す

(一社)日本置き薬協会

(一社)全国配置薬協会は、11月27日、28日開催の理事会等にて今後の「会議運営（委員会再編）」を審議し了承された。今年7月に就任した大北正人会長が唱える「配置は1つ」を実現すべく、川上、川下の関係にある製薬と配置の部会を廃止、五つの各部会に製薬と配置の委員が入り、配置業界の諸問題を業界全体で解決をはかる組織体制となった。以下全配協が記した、新体制への経緯と主旨、委員会構成である。

全配協は、製販双方が一体となって組織構成され、医薬品関係業界の全国組織としては、唯一無二の存在を誇っている。

1988年に現在の製薬・配置両部会による運営体制となって以来、当初はその特徴を生かし、製販双方から同数の委員により、「広報宣伝」「経営対策」「資質向上対策」の3委員会が校正されて来たが、ここ数年は製薬、配置個々の主体性を踏まえ、各部会に委員会を設置し、各種事業の企画・運営を進めてきた。

その後、関連事業者をサポート会員として加入を認める会員拡大に合わせ、製販・関連事業者代表による「配置販売新戦略会議」を設置し、時代の流れに即した配置販売経営のあり方や新たなビジネスモデルの検討、構築に重点を置いて委員会運営を行ってきた。さらに、一昨年から浮上してきた医薬品販売制度の見直しに対し「配置販売業に係る制度検討委員会」を設置するなどし、急を要する課題への対応にも当たっている。

ただし、ここ数年、GMP違反による違法製造問題、伝統的処方設計である配置薬独自の生薬製剤の終売問題等が浮上するなど、今後の配置薬の安定的な製造・供給体制に大きな懸念が生じていることや、販売面では登録販売者外部研修の受講義務化、ガバナンス強化等、適正かつ的確な対応が求められ課題を抱える現状に対し、改めて製販一体の組織である特性を生かしつつ、委員会体制の再編を行う。

### 委員会構成と活動内容

#### ○総務委員会

全配協総会、理事会、監査会、各委員会、製薬・配置両部会各会議の企画・立案  
会務4並びに会計（予算・決算）事務  
広報活動、ホームページ作成

#### ○組織強化委員会

各県協議会・協会の会員減少に伴う運営効率化・簡素化  
薬業関係諸団体との連携・協調

#### ○薬事委員会

法令順守（ガバナンスの強化）、政省令及び行政通知等に関する周知  
薬事関係団体（日薬連、一般薬連等）との連携、委員会活動

#### ○企画開発委員会

商品開発及び販売促進に関する企画・提案  
取引慣行改善

#### ○資質向上研修運営委員会

登録販売者外部研修の実施及び受講徹底  
既存配置従事者の資質向上研修の実施及び受講の徹底  
研修テキスト及び研修資料の作成・配布